

## 第4回 久永聡子さん（熊本大学）

日本心理学会若手の会コラムリレーでは、若手のみなさまに、ご活躍されている領域や普段の生活についてご紹介いただきます。

第4回目は、久永聡子さん（熊本大学）にご執筆いただきました。

私は、音声知覚・処理への視覚情報の影響に関心があります。大学院より着手した脳活動計測、文系に所属していた私は本や論文からの情報だけが頼りでした。計測装置の故障がきっかけで工学部の先生とお話する機会があり、幸運にも工学部の先生方が所有されていた装置を使わせてもらうことになりました。いざ計測を始めてからは、工学部の先生方を頼る日々が続き、先生方のお部屋と計測室を行き来しておりました。そんなことをしていると、自分がどこに所属しているのかわからなくなり、指導教官から「あなたどこの所属か分かってる!？」と言われてしまったこともあります（笑!!）。ただ、今思うことは、あの時の工学部もどきの自分がいなければ、脳活動データの面白さはわかっていなかったということです。学生時代、いろいろなことがありましたが、多くの先生方のおかげで今も研究が続けられています。

久永聡子

【ご所属】 熊本大学文学部

【ご連絡先】 satoko.hisanaga@gmail.com

【その他】

次回のコラムリレーは、  
佐藤由紀（Yuki SATOH）さん（玉川大学）  
にご執筆いただきます。